



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部
交通部
TEL 0134-27-0118
(内線:2615、2623)
平成23年12月 No.29

近年の主要乗揚海難事例

11月24日、苫小牧港で錨泊中の外国貨物船が強風により走錨し、浅瀬に乗揚げる海難が発生しました。幸い該船は早期に救助されましたが、乗揚海難は船体を救助又は撤去するまで長期化するおそれがあります。今回はそのような近年の道内における主要乗揚海難事例を紹介します。

(苫小牧の海難については下記の「荒天時の走錨に注意しましょう！！」参照)

【事例1】

某年4月末ころ、津軽海峡を航行中の貨物船が函館山付近の海岸に乗揚げた。翌日引出し作業が行われたが、離礁できず、6月に入ってから離礁させることができた。

【事例2】

某年3月、石狩湾にて錨泊中の貨物船が強風のため走錨し、石狩湾港近くの海岸に乗揚げた。同船は自力離礁できず、4月に引出されて離礁した。

【事例3】

某年1月、利尻島沖を航行中の貨物船が利尻島の海岸に乗揚げた。自力離礁や引出し作業を試みるも成功せず、最終的に解体することとなり、11月に解体撤去された。

平成18年～平成22年の乗揚船舶隻数

H18	H19	H20	H21	H22	総計
21	24	14	9	17	85

乗揚原因上位3位(H18～H22)

1位	見張り不十分	19隻(22%)
2位	船位不確認	13隻(15%)
3位	操船不適切	10隻(12%)
	居眠り	10隻(12%)

荒天時の走錨に注意しましょう!!

(苫小牧港外での乗揚事案)

苫小牧海上保安署において前日から走錨注意情報を発表していた11月24日午前2時ころ、外国貨物船(総トン数18,866トン、空船)が、低気圧通過に伴う強風(最大瞬間風速約22m)により走錨し、座礁する海難事故が発生しております。



苫小牧港外は、錨かきが悪い海底地質のため強い南風時に、走錨による乗揚海難が本件を含め過去20年間で4件発生し、その内3件が10月以降3月までに発生しています。また、他の地区においても走錨海難が発生していますので、強風時には常に自船の位置確認を行うとともに、早目の避難を行うことにより乗揚海難の未然防止に努めましょう。

A I S
搭載船舶への
お 願 い

電源は常時ON!
自船の情報入力 is 正確に!
航海関連情報入力 is 忘れずに!
受信音が鳴るよう設定、鳴ったら確認!
VHF CH16常時聴取の励行!

11月の海難隻数及び海難による
死者・行方不明者数(速報値)
8隻、0名
平成23年累計(速報値)
121隻、8名